

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	戸板女子短期大学
設置者名	学校法人戸板学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の単位数				省令 で定 める 基準 単位 数	配 置 困 難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
戸板女子短期大学	服飾芸術科		12		48	60	7	
	食物栄養科				34	46	7	
	国際コミュニケーション学科				42	54	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www.toita.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/2025kkamoku.pdf>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由) なし

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	戸板女子短期大学
設置者名	学校法人戸板学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.toita.ac.jp/wp-content/uploads/2025/04/yakuin2025.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士（現職）	2023. 7. 20 ～ 2026. 7. 19	理事会決議事項への意見、意思表示等、学校法人運営への積極的は参加
非常勤	他学校法人役員	2023. 9. 18 ～ 2026. 8. 31	理事会決議事項への意見、意思表示等、学校法人運営への積極的は参加
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	戸板女子短期大学
設置者名	学校法人戸板学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 教務部が教務委員会の承認のもと、9月下旬にシラバス作成を各教員に依頼している。専任教員に対しては全体説明会にて、「授業内容」「授業目標」「授業計画」「到達目標・基準」「事前・事後学修」「指導方法」「成績評価の方法・基準」「テキスト」「参考書」「履修上の注意」「アクティブラーニング」の取組、「ICTの活用」の記載方法を説明し、当該年度の12月末までに作成依頼している。なお、非常勤の教員に対しても全体説明会を別途開催しており、説明会に欠席した教員には教務部が別日に個別で説明し、専任・非常勤にかかわらず、全教員が記載方法を理解したうえでのシラバス作成を徹底している。 また、シラバスは、教務委員会 講義内容編集要領に基づき教務委員会によって第三者チェックされ修正し完成したものを受け、入試・広報部が当該年度内にHPにて掲載し一般に公表している。	
授業計画書の公表方法	https://www.toita.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/jitsumushirabasu2025.pdf
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 教務部が前期、後期終了時に行う「授業に関する学生の意識調査」により個別の授業ごとに学修意欲の把握をしている。また、各教員は、シラバスに基づき「成績評価の方法・基準」におけるディプロマポリシーの観点や成績評価の比重を設定するなど学修成果を厳格かつ適正に評価しつつ指定単位を与えており、卒業に必要な単位数は以下としている。 服飾芸術科では、総合教養科目(必修・選択必修)14単位以上、専門教育科目(必修・選択必修)10単位以上、(選択)40単位以上、合計64単位以上。 食物栄養科では、総合教養科目(必修・選択必修)14単位以上、専門教育科目(必修・選択必修)16単位以上、(選択)34単位以上、合計64単位以上。 国際コミュニケーション学科では、総合教養科目(必修・選択必修)、14単位以上、(必修・選択必修)10単位以上、(選択)40単位以上、合計64単位以上。 なお、総合教養科目14単位以上は、少なくとも11単位以上は共通教育科目を修得することとしている。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績評価においてはGPAを設定し、学内では「履修要項」に記載し、学内外ではHP掲載により公表している。また、各学科各授業の成績の分布状況の把握に努め短大運営会議において各学科教員への周知を図るとともに、各学科の半期ごとの成績分布状況をHPで公表している。また、授業の成績評価は、以下の通りS、A、B、C、Fの5段階で行っている。なお、「戸板ゼミナール」、「学科ゼミナール」、「学外実習」、「インターンシップ」等、通常の授業と異なる科目は「P」Pass、「D」Dropで評価することもある。 GPAの算出方法については、履修した科目の成績評価(5段階)を4～0までのポイントに置き換え(GP)、それに履修した単位数を乗じて、全ての科目のポイント数を合計し、履修総単位数で割ったものが平均点(GPA)となる。 但し、「P(合格)」「D(不合格)」「T(認定)」で成績評価される科目はGPAに算出しない。 (履修登録をした科目のGP×履修登録をした科目の単位数)の合計 GPA算出式＝履修登録をした科目の単位数の合計 GPAのグレードポイント(事例) Sは、合格(100～90点) 4評価 Aは、合格(89～80点) 3評価 Bは、合格(79～70点) 2評価 Cは、合格(69～60点) 1評価 Fは、不合格(59点～0点) Fail(不可)評価 Wは、不合格 — 0 Withdrawal(放棄)評価 Pは、合格 — — Pass(合)評価 Dは、不合格 — — Drop(否)評価 Tは、認定 — — Transferred(認定)評価	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.toita.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/2024_GPA.pdf
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー）については、建学の精神である「時代に適応する実学の教授研究により、職業に必要な能力を育成するとともに、知性と品性を涵養し、女性の人格形成と自立を目指すこと」を教育方針とし、「時代の要請に適応する実地的な専門の学術技術を教育研究し、広く一般的教養を高め、自己肯定感の高い、社会に貢献できる感性豊かな女性を育成する」ことを理念とし、アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、アセスメントポリシーとともに策定をしている。戸板女子短期大学ホームページに掲載し、学生、教職員のほか、広く学外にも公表し、適切に実施している	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.toita.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/seisekihyoka_2025.pdf

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	戸板女子短期大学
設置者名	学校法人戸板学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.toita.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/R6kessan.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.toita.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/R6kessan.pdf
財産目録	https://www.toita.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/R6kessan.pdf
事業報告書	https://www.toita.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/R6jigyohoukoku.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.toita.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/R6kessan.pdf

2. 事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：	対象年度：	）
公表方法：		
中長期計画（名称：	対象年度：	）
公表方法：		

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法： https://www.toita.ac.jp/info/evaluation/

(2) 認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 服飾芸術科
教育研究上の目的 (公表方法 : https://www.toita.ac.jp/info/about/)
(概要) 本学の建学の精神は、時代に適応する実学の教授研究により、職業に必要な能力を育成するとともに、知性と品性を涵養し、女性の人格形成と自立を目指すことにある。
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法 : https://www.toita.ac.jp/info/about/)
(概要) A. 他者と協力して共に創り上げる力 社会人としてふさわしいマナーや心配りで他者と接するとともに、ファッションにおける自らの考えを論理的に伝えながら多様な意見を受け入れ、積極的に信頼関係を築きチームに貢献することができます。 B. 自己肯定感をもって最後までやり遂げる力 自らのファッションセンスの強みとその活かし方を認識し、困難なことにも責任をもって主体的、かつ前向きに行動して最後までやり遂げることができます。 C. 目標と計画を立てて課題を解決する力 ファッション業界が直面している課題を自ら見つけ、その解決に向けて現実的な目標と合理的な計画をたて、実践と検証・改善を繰り返すことができます。 D. ファッションの知識を活かして考える力 提示されたファッションに関する課題に対して、情報を収集し、課題の本質をとらえて解決策を示すことができます。 E. 学んで理解する力 学ぶことを楽しみ、ファッション業界の職業につながる専門的な知識と技能を理解・修得することができます。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : https://www.toita.ac.jp/info/about/)
卒業認定・学位授与の方針に掲げる知識・技術などを修得させるために、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を開講します。科目間の関連や科目の配置を示すためにナンバリングとカラーリングを行い、カリキュラムマップによってカリキュラムの体系をわかりやすく提示します。 A. 他者と協力して共に創り上げる力 ファッション業界との産官学連携プログラム等で行うグループワーク、共同作業を通して、効果的にグループメンバーに働きかけながら成果を出す科目を編成します。 B. 自己肯定感をもって最後までやり遂げる力 主体性と好奇心を持ち、ファッション分野に対する感性を深め、強みを発揮しながら

最後まで課題に取り組む力を養う科目を編成します。

C. 目標と計画を立てて課題を解決する力

ファッションに関心を持ち、課題解決のために合理的な計画を立てて主体的に取り組む科目を編成します。

D. ファッションの知識を活かして考える力

提ファッションに関する知識や情報収集・分析から、課題解決策や行動計画を提案する力を養う科目を編成します。

E. 学んで理解する力

ファッション業界に携わる職業人、社会人として活躍するために必要な知識やスキルを身につける科目を編成します。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：<https://www.toita.ac.jp/info/about/>）

（概要）

服飾芸術科では、卒業認定・学位授与の方針および教育課程編成の方針に定める人材を育成するために、次にあげる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求めます。また、入学者を適正に選抜するために多様な選抜方法を実施いたします。

A. 他者と協力して共に創り上げる力

ファッションに敏感で、高校時代に生徒会活動、クラブ活動、学校行事やボランティアなどの経験がある人

B. 自己肯定感をもって最後までやり遂げる力

規則正しい生活習慣を備え、課題に誠実に好奇心をもって取り組むことができる人

C. 目標と計画を立てて課題を解決する力

ファッションの専門分野に興味・関心があり、進学・就職に向け高い目標と意欲がある人

D. ファッションの知識を活かして考える力

自分のファッションや興味のあるデザインについて、知識や情報をもとに論理的に説明することができる人

E. 学んで理解する力

高等学校の教育課程を幅広く修得し、基礎的な学力を身につけており、何ごとにも好奇心を持って学ぼうとする意欲のある人

学部等名 食物栄養科

教育研究上の目的（公表方法：<https://www.toita.ac.jp/info/about/>）

（概要）

本学の建学の精神は、時代に適応する実学の教授研究により、職業に必要な能力を育成するとともに、知性と品性を涵養し、女性の人格形成と自立を目指すことにある。

卒業又は修了の認定に関する方針

(公表方法 : https://www.toita.ac.jp/info/about/)
(概要) 食物栄養科では、本学の教育課程を修め、64 単位の単位修得と必修等の条件を充たしたうえで、人間栄養学と食物栄養学に関わる専門的知識・技術の修得を通じ、栄養士としての実践的な能力と社会人として必要とされる豊かな教養を身につけ、栄養面から人の健康を支えるための総合的判断力を備えた人物に学位を授与します。そのために、下記的能力・資質を修得・涵養し、それらを総合的に活用できる人材を養成することを教育目標としています。 A. 他者と協力して共に創り上げる力 社会人としてふさわしいマナーや心配りで他者と接するとともに、自らの意見を論理的に伝えながら多様な意見を受け入れ、積極的に信頼関係を築きチームに貢献することができます。 B. 自己肯定感をもって最後までやり遂げる力 自らの強みとその活かし方を認識し、大量調理等の困難なことにも責任をもって主体的、かつ前向きに行動して最後までやり遂げることができます。 C. 目標と計画を立てて課題を解決する力 自ら課題を見つけ、その解決に向けて現実的な目標と合理的な計画をたて、実践と検証・改善を繰り返して、人の食生活をより良くするための成果を出すことができます。 D. 食物や栄養の知識を活かして考える力 提示された課題に対して情報を収集・分析し、課題の本質をとらえることができます。また、人間栄養学と食物栄養学、その他の身につけた専門的な知識を応用し、解決策を示すことができます。 E. 学んで理解する力 学ぶことを楽しみ、栄養士またはそれを活かした職業に必要な専門的な知識と技能を理解・修得することができます。
教育課程の編成及び実施に関する方針
(公表方法 : https://www.toita.ac.jp/info/about/) 卒業認定・学位授与の方針に掲げる知識・技術などを修得させるために、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を開講します。科目間の関連や科目の配置を示すためにナンバリングとカラーリングを行い、カリキュラムマップによってカリキュラムの体系をわかりやすく提示します。また、教育内容、教育方法、教育評価について、以下のように定めます。 A. 他者と協力して共に創り上げる力 産官学連携や調理・給食・栄養指導の実習等で行うグループワーク、共同作業を通して、効果的にグループメンバーに働きかけながら成果を出す科目を編成します。 B. 自己肯定感をもって最後までやり遂げる力 栄養評価、献立作成、調理・盛り付けなどに主体性と好奇心を持って取り組み、自己理解を深め、強みを発揮しながら困難を乗り越え、最後まで課題に取り組む力を養う科目を編成します。 C. 目標と計画を立てて課題を解決する力 食品・栄養・臨床・調理・食空間作りなど、食に関する様々な側面から、課題解決のた

めに合理的な計画を立て、主体的に課題に取り組む姿勢を養う科目を編成します。

D. 食物や栄養の知識を活かして考える力

身につけた知識と情報を収集・分析し、食のコーディネートや店舗のマネジメント、食品開発やマーケティング、スポーツの栄養面サポートなど、多様な分野における課題解決や行動計画を提案する応用力を養う科目を編成します。

E. 学んで理解する力

栄養士、社会人として活躍するために必要な知識やスキルを身につける科目を編成します。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：<https://www.toita.ac.jp/info/about/>)

(概要)

食物栄養科では、卒業認定・学位授与の方針および教育課程編成の方針に定める人材を育成するために、次にあげる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求めます。また、入学者を適正に選抜するために多様な選抜方法を実施いたします。

A. 他者と協力して共に創り上げる力

高校時代に生徒会活動、クラブ活動、学校行事やボランティアなどの経験がある人

B. 自己肯定感をもって最後までやり遂げる力

規則正しい生活習慣を備え、課題に誠実に好奇心をもって取り組むことができる人。また、計算などの綿密で複雑な作業をやり遂げることができる人

C. 目標と計画を立てて課題を解決する力

食と栄養および健康に強い関心があり、栄養士免許取得と進学・就職に向け高い目標と意欲がある人

D. 食物や栄養の知識を活かして考える力

自分の興味のあることがらについて、知識や情報をもとに論理的に説明することができる人

E. 学んで理解する力

高等学校の教育課程を幅広く修得し、特に化学・生物・数学の基礎的な学力を身につけており、何ごとにも好奇心を持って学ぼうとする意欲のある人

学部等名 国際コミュニケーション学科
教育研究上の目的（公表方法： https://www.toita.ac.jp/info/about/ ）
（概要） 本学の建学の精神は、時代に適応する実学の教授研究により、職業に必要な能力を育成するとともに、知性と品性を涵養し、女性の人格形成と自立を目指すことにある。
卒業又は修了の認定に関する方針 （公表方法： https://www.toita.ac.jp/info/about/ ）
（概要） 国際コミュニケーション学科では、教育課程を修め、64単位の卒業単位取得と必修等の条件を充たしたうえで、英語、国際文化、ICTに関する専門知識の修得を通じ、現代社会に柔軟に対応できるコミュニケーション能力を身につけ、グローバル社会において、それらを総合的に活用できる人物に学位を授与します。そのために、下記の能力・資質を修得・涵養し、それらを総合的に活用できる人材を養成することを教育目標としています。 A. 他者と協力して共に創り上げる力 社会人としてふさわしいマナーや心配りで他者と接するとともに、多様な考えを受け入れて自らの意見を創りあげ、効果的にメンバーを動機づけ、積極的にコミュニケーションをとることで信頼関係を築きチームに貢献することができます。 B. 自己肯定感をもって最後までやり遂げる力 コミュニケーションスキルを活かし、自らの強みを認識し、困難なことにも責任をもって主体的、かつ前向きに行動して最後までやり遂げることができます。 C. 目標と計画を立てて課題を解決する力 グローバル社会が直面している課題を自ら見つけ、その解決に向けて現実的な目標と合理的な計画をたて、実践と検証・改善を繰り返すことができます。 D. グローバルな視野に立ち知識を活かして考える力 提示された課題に対して、適切な情報を収集し、グローバルな視点から多角的に理解し、課題の本質をとらえて解決策を示すことができます。 E. 学んで理解する力 学ぶことを楽しみ、語学力やITスキル等、職業につながる専門的な知識と技能を理解・修得することができます。
教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法： https://www.toita.ac.jp/info/about/ ）
（概要） 卒業認定・学位授与の方針に掲げる知識・技術などを修得させるために、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を開講します。科目間の関連や科目の配置を示すためにナンバリングとカラーリングを行い、カリキュラムマップによってカリキュラムの体系をわかりやすく提示します。 A. 他者と協力して共に創り上げる力 グローバルビジネス、IT産業等とのプログラムを通して行うグループワーク、共同作

業により、効果的にコミュニケーションをとりグループメンバーに働きかけながら成果を出す科目を編成します。

B. 自己肯定感をもって最後までやり遂げる力

自己理解を深め、主体性と好奇心を持ち、強みを発揮しながら最後まで課題に取り組む力を養う科目を編成します。

C. 目標と計画を立てて課題を解決する力

グローバルなビジネスマインドで課題解決のために合理的な計画をたて、主体的に取り組む科目を編成します。

D. グローバルな視野に立ち知識を活かして 考える力

国際文化や IT の知識を活かし、情報収集・分析から、課題解決策や行動計画を提案する力を養う科目を編成します。

E. 学んで理解する力

職業人、社会人として国際社会で活躍するために必要な知識やスキルを修得する科目を編成します。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：<https://www.toita.ac.jp/info/about/>)

(概要)

国際コミュニケーション学科では、卒業認定・学位授与の方針および教育課程編成の方針に定める人材を育成するために、次にあげる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求めます。また、入学者を適正に選抜するために多様な選抜方法を実施いたします。

A. 他者と協力して共に創り上げる力

高校時代に生徒会活動、クラブ活動、学校行事やボランティアなどの経験があり、グローバル社会に貢献しようとする姿勢と高いコミュニケーション力がある人

B. 自己肯定感をもって最後までやり遂げる力

規則正しい生活習慣を備え、英語、異文化、IT を主体的に好奇心をもって学び、課題を最後までやり遂げることができる人

C. 目標と計画を立てて課題を解決する力

グローバルビジネス、IT 産業に興味関心があり、入学前教育で求められる課題に最後まで誠実に取り組む意欲がある人

D. グローバルな視野に立ち知識を活かして 考える力

英語、異文化、IT に興味があり、知識や情報をもとに論理的に説明することができる人

E. 学んで理解する力

高等学校の教育課程を幅広く修得し、国語読解力および、英語読解力・語彙力など英語総合力を身につけ、何事にも好奇心を持って学ぼうとする意欲のある人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：
 服飾芸術科：<https://www.toita.ac.jp/department/fashion/>
 食物栄養科：<https://www.toita.ac.jp/department/food/>
 国際コミュニケーション学科：<https://www.toita.ac.jp/department/international/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	1 人	－					1 人
服飾芸術科	－	1 人	1 人	5 人	2 人	4 人	13 人
食物栄養科		5 人	2 人	0 人	1 人	7 人	15 人
国際コミュニケーション学科	－	4 人	3 人	5 人	0 人	3 人	15 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
1 人		43 人					44 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：https://www.toita.ac.jp/toitapicks/teacher/					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関する
こと

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
服飾芸術科	200 人	161 人	80.5%	360 人	345 人	95.8%	0 人	0 人
食物栄養科	80 人	77 人	96.3%	200 人	184 人	92%	0 人	0 人
国際コミュニケーション学科	120 人	157 人	128.3%	240 人	258 人	107.5%	0 人	0 人
合計	400 人	392 人	98%	800 人	787 人	98.4%	0 人	0 人
(備考)								
b. 卒業者数、進学者数、就職者数								
学部等名	卒業者数		進学者数	就職者数 (自営業を含む。)		その他		
服飾芸術科	169 人 (100%)		9 人 (5.33%)	146 人 (86.4%)		14 人 (8.3%)		
食物栄養科	134 人 (100%)		4 人 (3.0%)	124 人 (92.5%)		6 人 (4.5%)		
国際コミュニケーション学科	119 人 (100%)		4 人 (3.4%)	108 人 (90.8%)		7 人 (5.9%)		

合計	422 人 (100%)	17 人 (4.0%)	378 人 (89.6%)	27 人 (6.4%)	
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) https://www.toita.ac.jp/course/employment-info/					
(備考)					
c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関することについては、シラバス、カリキュラム表、カリキュラムマップを作成し、学生へ周知している。 なお、同内容は本学ホームページにて公開している 服飾芸術科： https://www.toita.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/2025_fuku_shirabasus.pdf 食物栄養科： https://www.toita.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/2025_food_shirabasus.pdf 国際コミュニケーション学科： https://www.toita.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/2025_koku_shirabasus.pdf 総合教養科目： https://www.toita.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/2025_kyoyou_shirabasus.pdf
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関することに関しては、学科ごとに履修要項にて定めている。 なお、同内容は本学ホームページにて公開している (戸板女子短期大学ホームページ、戸板女子短期大学について、情報公開【6】学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関することにて記載している。				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
戸板女子短期大学	服飾芸術科	62 単位	☒ 有・無	単位
	食物栄養科	62 単位	☒ 有・無	単位
	国際コミュニケーション学科	62 単位	☒ 有・無	単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.toita.ac.jp/campuslife/facilities/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
戸板女子 短期大学	服飾芸術 科	810,000 円	250,000 円	施設設備費 380,000 円 教育充実費 15,000 円	
	食物栄養 科	810,000 円	250,000 円	施設設備費 390,000 円 教育充実費 8,000 円 栄養士履修費 20,000 円	
	国際コミュニ ケーション学科	760,000 円	250,000 円	施設設備費 380,000 円 教育充実費 17,500 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） 本学では、学生の修学に係る取組として教員によるオフィスアワーを設け、授業時間以外においても時間を設定し学生の修学に係る支援を行っている。なおこの取組は、戸板女子短期大学ホームページ、キャンパスライフ、学生サポートにて掲載している。 https://www.toita.ac.jp/campuslife/studentsupport/
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要） キャリアセンターを設置し、進路選択に係る支援に関する取組を行っている。また、教員で構成される進路・就職委員会を設置し進路選択に係る支援を実践している。なおこの取組は、戸板女子短期大学ホームページ、進路・就職、就職支援にて掲載している。 https://www.toita.ac.jp/course/
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） 保健室において看護師が常駐し、心身の健康等に係る支援をしている。また、学生相談室（カウンセリング室）資格を持った専門のカウンセラーが個別に相談に応じている。なおこの取組は、戸板女子短期大学ホームページ、キャンパスライフ、学生サポートにて掲載している。 https://www.toita.ac.jp/campuslife/studentsupport/

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.toita.ac.jp/info/disclosure/>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。